

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330312050	保育者論 Requirements for Nursery Teacher	山崎 典子	○	専門	2	必修	1後期

科目の概要

今、保育の質が問われている。どんな活動も子どもが主体的に活動できる保育が望まれ始めている。それを援助する保育者として保育の仕事に必要な知識、技法、仕事への倫理観を理解する。加えて自分の個性を大事にした上での保育者としての共通の知識、技法を自分なりに身につけていく。また保護者や家庭と連携して一緒に歩む仕事として認識し学ぶ。保育園長10年の経験をもとに、求められる保育者の資質について知らせていく。

学修内容	到達目標
① 保育者の仕事や役割について理解する。 ② 必要な知識、技法、倫理観について理解する。 ③ 保護者や地域における園の役割を理解する。 ④ 保育者の専門性について考察する。	① 保育者の仕事や役割について説明することができる。 ② 子どもの育ちに貢献するために必要な知識やスキルを理解することができる。 ③ 保護者支援の必要性を述べるができる。 ④ 自分なりに目標、内容、方法を探り考察することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	進んで課題に取り組み、自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	保育に関する用語などを調べてみようとするができる。
考え抜く力	課題発見力	分析に必要な文献や情報を自ら收拾して、保育の専門性について考えることができる。
	計画力	
	創造力	
チームで働く力	発信力	
	傾聴力	グループワークで人の意見を丁寧に聞き、また自分の意見をわかりやすく説明できる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語は慎む。生活ルールを守り、積極的に参加する事ができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト 新しい保育講座 『保育者論』 汐見稔幸・大豆生田啓友 編著 ミネルバ書房
 参考文献 『幼稚園教育要領解説書』 『保育所保育指針解説書』
 適宜プリント配布

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「保育者論」は保育内容総論、保育原理、保育内容5領域を学ぶ上で必要な保育者の心持ちを学ぶ教科である。
 資格との関連：保育士、幼稚園教諭一種

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 保育に関する本などを読み、授業に必要な資料を調べたりすると良い。 配布された資料や講義ノートは整理し、まとめておくが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者は子どもの育ちに大きく関わる存在であることを認識し、自分自身の生活を見つめ意欲的に授業に出席する。 授業中の私語は慎み、無断欠席、遅刻をしないように心がける。 予習・復習を通して自分の調べたことや考えたことを講義ノートにまとめる。 携帯電話は必要とき以外は鞆の中に入れておく。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者としての仕事の内容、役割を理解出来ているか。 ・自己の保育者像、保育観が構築出来ているか。 ・保育者として必要な専門性について理解でき、自己の保育者像を明確にし、保育者として必要なことについて論ずる。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
平常評価	レポート	30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に上がった項目について、自分の考えをまとめることができる。 ・教科書、その他の資料など様々な角度から問題に取り組み、レポートをすることができる。 ・保育者としての仕事の内容、役割を理解出来ているか。 ・自己の保育者像、保育観が構築出来ているか。 	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内でまとめた意見を共有して、わかり易く伝えることができる。 ・その内容について丁寧にまとめることができる。 	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	主体性：課題に取り組み、自己学修をすることができたか評価する。 実行力：必要な用語を調べたり、文献を読んだりすることが出来る。 課題発見力：保育の専門性について考えることが出来たか評価する。 傾聴力：グループ活動の中、人の意見をよく聞き、自分の意見を述べる事ができたか評価する。 規律性：授業が円滑に進行するようにルールを守ることができたか評価する。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
総合評価割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
到達目標の①から④において、おおた達成できている。 テキスト以外の文献からも課題について主体的に取り組むことが出来る。 グループ討議の際、人の意見をよく聞き、自分の意見を述べる事が出来る、さらにそれをわかりやすくまとめることが出来る。 レポート作成において倫理的な文章で論じ、保育者の仕事と役割について説明することが出来る。 また保育者の職務、倫理観の必要性を説明することが出来る。そして自身の保育者像・保育観を説明することが出来る。 上記以上に特に優れている場合はS(秀)評価とする。	達成目標の①から④において7割程度は達成できる。 グループ討議の際、人の意見をよく聞き、自分の意見を述べる事が出来る、 保育者の職務、倫理観の必要性を説明することが出来る。 自身の保育者像・保育観を説明することが出来る。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション	講義	講義の内容、進め方について理解できる。		120	主体性 創造力 傾聴力
2	第1章 「保育者になる」ということ なりたいたと思った理由を今一度考え、幼稚園教諭、保育士の違いを考える。	講義 グループ討議	「育みたい資質・能力」について考える。	グループ討議の内容をまとめる。	120	主体性 創造力 傾聴力
3	第1章 「保育者になる」ということ 倉橋惣三著の『育ての心』を読み、保育者理解を考える。 現職保育者のエピソード記述を通じてこどもの内面の考察をする。	講義	保育者のエピソード記述から子どもの内面の考察をすることができる。	倉橋惣三について調べ、講義ノートにまとめる。	120	課題発見力
4	第2章 保育者の1日 保育者の1日の仕事を理解する。	講義 グループ討議	保育者の1日の流れを知り、仕事内容を理解することが出来る。	保育指針の就学までに育って欲しい姿について調べる。	120	主体性 傾聴力
5	第2章 保育者の1日 保育者の仕事の理解と役割について学修する。	講義 グループ討議	1日の流れ、1年の流れについて理解することが出来る。 保育者の仕事の理解と役割について理解することが出来る。	砂場での遊びを具体的に考えてみる	120	主体性 傾聴力
6	第3章 子どもの思いや育ちを理解する仕事 エピソード記述から学び取る。子ども理解について考える。	講義 グループ討議	子ども理解をエピソードから読み取り、自分なりの考察をし、意見を聞いたり、発表したりする。	エピソードの振り返りをする。	120	課題発見力
7	第4章 子どもと一緒に心と体を動かす仕事 幼稚園の場合と保育所の場合を比較しながら考える。	講義	幼稚園と保育園の違いに気付きながら、保育者の職務にていて学ぶ。	教師の役割について要約して説明できる。	120	主体性 傾聴力
8	第5章 豊かな文化や自然との出会いをつなぐ仕事 絵本を通して広がる世界について考える。	講義 グループ討議	絵本の選び方や読み方を知り、好きな絵本を探しグループ内で読み合うことが出来る。	いろいろな絵本を読んでみる。	120	発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	第5章 豊かな文化や自然との 出会いをつなぐ仕事 「豊かな生活」を作り 出す保育者の在り方 について学修する。	講義 グループ討議	「豊かな生活」を作り 出す4つの視点につい て理解することが出来 る。	絵本から「豊かな表 現」について各グルー プで発表したものを 自分なりに講義ノート にまとめる。	120	課題発 見力 創造力
10	第6章 保護者や家庭と一緒に 歩む仕事 なぜ保護者支援が必要 なのか 学修する。	講義 グループ討議	グループで話し合い シュミレーションした りする。	発達や行動が木になる 子どもについて調べて みる	120	主体性 傾聴力
11	第7章 学び合う保育者 保育者の専門性と省察	講義 グループ討議 自己決定について考 える	保育者の研修の必要性 を理解することが出来 る。	授業の振り返りをす る。	120	主体性 傾聴力
12	第7章 学び合う保育者 「語り合い」・「学び 合う」ために必要なこ とを学修する。	講義 グループ討議	保育現場の職員間で話 合い子どもを共に見る 「まなざし」の必要性 を理解出来る。 グループで話し合った ことをまとめて発表出 来る。	どんな保育者になりた いか考えてみる。	120	課題発 見力 発信力
13	第8章 保育の専門性って何だ ろう 保育者の専門性につい て学修する。	講義	現代の社会における保 育所の役割を知る。 多様性や統合保育につ いて理解する。	自己の保育像について 考えてみる。	120	実行力 発信力 規律性
14	第8章 保育者の専門性 自己の保育者像の発 表、他者保育者像を知 る。	講義 グループ討議	日本の保育者の歩み や、世の中で定評のあ る保育思想や手法につ いて積極的に学ぶこと が出来る。	グループ討議を通して 考えた事をまとめてレ ポートの下書きの作成 をする。	120	実行力 発信力 規律性
15	まとめ 今までの講義の振り返 りをしてこれから保育 者となっていくのに必 要なことを考える。	講義	いま求められる保育士 の専門性について考え る。	【論文形式】 はじめに・目的・内 容・保育観・まとめ・ 今後の課題をしっかりと まとめる。	120	実行力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力